

Zscaler IP アドレス

確認と固定化の実務

IP が毎日変わる？仕組みから固定化まで

ZIA/ZPA ・ CEN レンジ ・ SIPA ・ 案件単価を解説



IP が変わってパニックでしゅ

設計どおりだ。叩き込んでやる。



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● ZIA と ZPA の仕組みの違い

ZIA

インターネット向けプロキシ

- ・ 端末→クラウドノード→インターネット
- ・ 外部に見えるのはノードの IP
- ・ 拠点や時間帯でノードが変わる

VS

ZPA

アプリ単位のプライベート接続

- ・ App Connector が外向き接続のみ
- ・ 社内ネット全体を開放しない
- ・ 利用者にサーバの IP を見せない



ZIA/ZPA の核心

IP で到達するか、アプリ単位で繋ぐかが根本の違いだ。

● 送信元 IP が固定されない 3 つの理由



冗長化

障害時は別ノードへ自動切替。止まらないための仕組みだ。



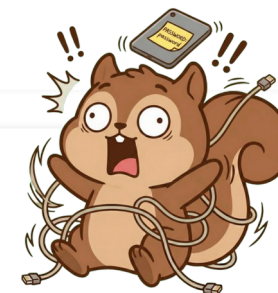
地理最適化

所在地に近い拠点へ動的にルーティングされる。



負荷分散

混雑を避けてノードをまたいで処理される。



「昨日と違う IP」は異常ではない。それが設計だ。覚えておけ。

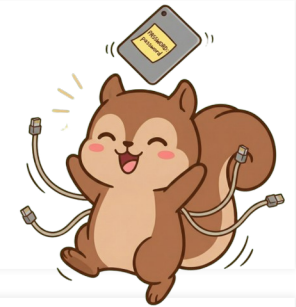


● ip.zscaler.com で現在の送信元 IP を確認する



確認できる主な項目

送信元 IP ・ 経由ノード ・ クラウド名を表示



切り分けの活用法

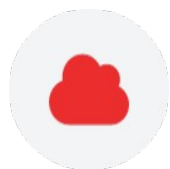
経由時と非経由時を比べれば通過確認できる



確認の核心

公式ページが基準だ。外部サービスの結果は補助にすぎない。

● config.zscaler.com で CEN レンジを確認する



CEN レンジの用途

許可リスト用のクラウド全体の IP 範囲を公開



参照の絞り方

自社クラウド名と地域で絞り最小限を取得する



レンジ確認の核心

個人 IP の確認と CEN レンジ確認は目的が別物だ。

● 許可リスト登録の3つの原則



自社クラウドに限定

他社 Zscaler ユーザーを通さないよう絞る



地域を絞って最小化

利用地域のレンジだけ許可し過剰開放を避ける



許可設計の鉄則

広げすぎた許可は IP 制限の意味を自ら薄める。最小限が鉄則だ。

● IPレンジ変更への追従体制を作る



変更通知の追従

公式の変更通知を追える体制を事前に用意する



手順の非属人化

更新手順を文書化して引き継げる状態にする



運用の核心

レンジは変わるものだ。更新前提の管理設計を最初に決めろ。



● 送信元 IP を固定する 3 つの選択肢



SIPA (送信元 IP 固定)

特定アプリ宛のみ組織 IP で出す。ZIA+ZPA 両方が必要。



Dedicated IP

組織専用の送信元 IP を持つ追加オプション。コスト要相談。



自社管理 NAT

AWS/Azure 等の固定 IP ・ NAT を経由させる構成。



全通信ではなく対象を絞って固定するのが現実的な設計だ。



● Source IP Anchoring の仕組みと使いどころ



動作の仕組み

ZIA→ZPA 経由で特定 SaaS 宛に自社 IP で出力



使いどころ

特定 SaaS 宛の IP 制限を自社 IP で通す場面に最適



SIPA の核心

全部ではなく必要な通信だけ固定する。SIPA の使い方だ。

● よくあるトラブルと切り分けの型

SaaS 弾かれ・海外判定



原因

経路ノードの所在地が想定外の地域



確認手順

ip.zscaler.com で経路ノードを確認



対処

SIPA と SaaS 側許可設定を見直す

監査ログの追跡困難



原因



発想転換



追跡設計

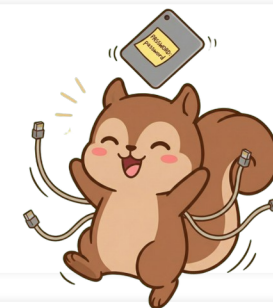


● ZTNA/SASE 運用スキルの案件単価



フリーランス中央値

月額 90 万円（レンジ 50 ～ 180 万円）



高単価の職種

要件定義・設計が中央値 92.5 ～ 115 万円



市場評価の核心

IP 設計を実務で回せる人材は少ない。だから高く買われる。

● まとめ



Zscaler 経由で IP が変わるのは設計どおり。冗長化・地理最適化・負荷分散が理由だ



IP 確認は ip.zscaler.com、許可リストは CEN レンジを自社クラウド・地域に絞って登録する



IP 設計・CEN レンジ運用・SIPA の実務経験は ZTNA/SASE 案件で直接評価される

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

